

事業名	商工業振興事業費	会計	款	項	目
		一般	7	1	1
政 策	7 生活を支える担い手があり続けるために	課名	産業課		
施 策	7-2 商工業の振興	係名	産業振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内小規模事業者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	商工会への助成を行うことで、魅力ある商工業の振興を図ります。
事業内容	商工業振興事業 経営改善や地域振興のための組織強化を行い、魅力ある商工業の振興を図るとともに、地域産業を主体とした、経営改善の指導ができるよう商工会への補助事業を通じて、小規模事業者への支援を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	商工会員数（個人、法人）	510	509	519	件	↑	510	
	2	制度融資件数	19	21	22	件	↑	30	
	3	商業環境についての満足度	－	－	－	%	↑	↗	
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				63,225		16,406		17,632	
財源 内訳	直接事業費A			59,925		13,916		14,242	
	うち一般財源			14,310		13,916		14,242	
人件費（千円）B				3,300		2,490		3,390	
内訳	一般職員（人・千円）			0.50	3,300	0.35	2,310	0.50	3,300
	臨時職員（人・千円）			0	0	0.1	180	0.05	90

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	・商工会補助金については、基準等を定めていないことから、他市町の状況や妥当性を検証し、慎重に協議を重ねる。	③取組の課題	・商工会への補助金交付にあたり、実績報告等によっても、具体的に成果が見えにくい。
②R5年度に実施した取り組み	・商工会による小規模事業者への経営改善等にかかる補助金を交付した。 ・商工会による創業者塾の開催を受けて、新規創業者に補助金を交付した。	④今後の改善計画	・補助金の効果を測る方策を検討し、より効果的なものとなるよう検討する。